

容器開発が食料産業に 与えるインパクト

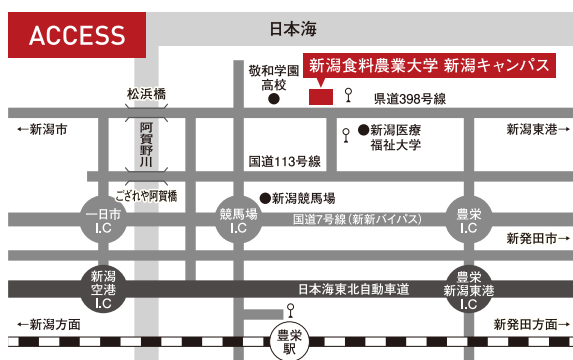
主催
新潟食料農業大学

後援 日本政策金融公庫新潟支店、公益社団法人 日本包装技術協会

様々な新容器は私たちの食生活を様々に豊かなものにしてきました。セミナーでは、キッコーマン様からしょうゆ容器の変遷を軸に容器開発と我々の生活の関わりについて、また“鮮度の一滴”(ヤマサ醤油株式会社)のパウチインディスペンサー開発で知られる悠心様(本社:三条市)から、加速化する商品開発の現状と市場活性化をもたらす知的財産戦略について、ご講演いただきます。どうぞお気軽にお越しください。

定員
50名
参加料
無料

日時 **2019年1/22(火)** 13:00-16:20
受付 12:30~



会場 新潟食料農業大学 新潟キャンパス
新潟市北区島見町940(国道7号線競馬場ICより約6分)
※お車でのご越しの場合は本学敷地内の駐車場をご利用ください。

対象 食品企業経営者、商品開発担当者、知的財産担当者、
教育関係者、容器包装・印刷関係者等

セミナープログラム

講演① 13:05~

しょうゆ容器の変遷と新容器の開発

樽、ガラス・缶、そして樹脂容器へ…

しょうゆ容器はお客様に何を提供してきたのか?

キッコーマン食品株式会社 容器包装開発チームリーダー 桑垣 傳美氏

古くは樽、そして缶や一升瓶で販売されていたしょうゆに加え、皆様おなじみ赤い蓋の卓上瓶が登場したのは1961年のこと。それから50年余り、様々な食品容器は食生活に大きな変化をもたらした。しょうゆ容器の変遷をたどる中で、お客様とのやり取りの中から生まれる新容器についてお話いただきます。



講演② 14:40~

株式会社悠心の商品開発と知的財産戦略

商品開発の加速と

市場の活性化をもたらす知財戦略

株式会社悠心 代表取締役社長 二瀬 克規氏

時代の変化に伴って市場のニーズも変わる。商品価値やビジネスモデルはすぐれ寿命が訪れる。次の時代を見据えて、いち早く潜在的なニーズを予測し、高い志によって革新的な商品を素早く開発し、特許とノウハウでしっかりと守る。その重要性についてお話いただきます。



お申込み方法

申込みフォーム(下記URLまたはQRコードより)
またはFAX(裏面申込書)にてお申込みください。

お申込み
フォームURL <https://bit.ly/afsem003>



申込み
締切

2019年1/18(金)

① 定員になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

FAX送信方向

FAX:025-212-3308

新潟食料農業大学アグロフードセミナー

「容器開発が食料産業に与えるインパクト」 参加申込書

2019年
申込み締切
1/18(金)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

以下の項目に必要な事項をご記入いただき、上記の番号までFAXください。(送付状不要)

所属					
所在地	〒				
連絡先	TEL		FAX		
参加者	氏名		部署 ・ 役職等		E-Mail
	氏名		部署 ・ 役職等		E-Mail
	氏名		部署 ・ 役職等		E-Mail
	氏名		部署 ・ 役職等		E-Mail
	氏名		部署 ・ 役職等		E-Mail

※個人情報は当セミナーの運営および今後の社会貢献活動に利用し、第三者に開示することはありません。

お問い合わせ先

新潟食料農業大学 社会連携推進課 (担当:本間・宮崎)

〒950-3197 新潟市北区島見町940 E-Mail/renkei@nafu.ac.jp FAX/025-212-3308